

# 第4次垂水市総合計画の歩みと中間見直し公開講座

垂水市企画課 野嶋 正人  
総務課 堀留 豊

## 1. はじめに

平成24年度は、第4次垂水市総合計画基本計画が中間時期を迎えることから中間見直しを行いました。

市民と行政の手作りでスタートした第4次垂水市総合計画ですが、国政や社会情勢の変化、水迫前市長から尾脇新市長への交代など本市を取り巻く環境の変化に対応するためです。

このレポートでは、総合計画の歩みと中間見直し事業の概要について、平成22年度から総合計画担当係長で現企画課課長補佐の野嶋と平成24年度まで総合計画を担当していた現総務課秘書広報係の堀留との共同執筆という形でまとめさせていただきました。

## 2. 総合計画の歩み

垂水市における総合計画は、昭和53年に「垂水市総合計画」としてはじめて策定され、以後、昭和63年に「垂水市新総合計画」、平成10年に「第3次垂水市総合計画」、そして、平成20年に現計画である「第4次垂水市総合計画」があり、これまで4回策定されています。

現計画の「第4次垂水市総合計画」は、これまでの策定プロセスを全面的に見直し、コンサルタントに委託せず市民と行政の手作りで策定されました。

策定にあたっては、教育的視点と行政に対する専門的視点から鹿児島大学と総合計画策定に関する協定を締結し、策定全般への支援を頂いたところです。<sup>1</sup>

結果的に835人の市民と大学内の様々な分野から13名の先生方の参加があり、第4次垂水市総合計画は基本構想が平成20年3月に議会の議決を経て決定<sup>2</sup>、基本構想に基づく27の政策で構成される基本計画が同年6月に決定、そ

<sup>1</sup> 詳しくは鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報第5号「第4次垂水市総合計画と鹿児島大学公開講座／堀留豊」を参考にしてください。

<sup>2</sup> 総合計画は平成23年までは地方自治法に基づき議会の議決を経て定めるよう規定されていた。現在、法的根拠はないが議会の議決事項とするかどうかは市町村によって異なり、垂水市は検討中である。

して、各課において政策の実現のために取り組む実施計画が検討され、11月に第1期実施計画として決定しました。

実施計画は、平成24年度時点で全208事業で構成されており、事業内容については、毎年度行政評価シートに基づきローリング方式で見直すようしています。

また、非公開ではありますが、長期事業計画書も作成し、長期的な財政計画の参考資料として活用しています。

## 3. 総合計画策定後の動き

第4次垂水市総合計画策定後、垂水市の行政運営においていくつか変化がありました。

まず、策定に大きな支援をいただいた鹿児島大学との関係ですが、計画策定後も総合計画に基づくまちづくりを効果的に進めていくために平成21年1月に包括連携協定を締結しました。

大学とはこれまでも行政運営や地域づくりに関する取り組みを進めてきましたが、さらに産業、保健、教育などの分野の取り組みを加え、年度ごとに取り組み内容の成果確認を行うなど、より深い関係を築いています。

特に近年、実績のある取り組みは「地域振興計画策定事業」です。これは垂水市内にある9小学校区ごとにまちづくり計画を定めるもので、現在4地区が策定済みで今年度新たに2地区で策定が進んでいます。<sup>3</sup>

また、庁内においては、市長のトップマネジメントの強化と意思決定の明確化のために、庁内の企画系会議の再編を行い、新たに「垂水市経営会議規程」を定め運用を始めました。ちなみにこの取組も市職員対象の公開講座で市長への提言書をまとめたことが起点となりました。<sup>4</sup>

一番の大きな変化は市長が交代したことです。

平成23年1月、水迫順一前市長が勇退されたことを受け、三つ巴の選挙戦となりました。選挙の結果、水迫市政の継

<sup>3</sup> 詳しくは鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報第8号「垂水市の新たな挑戦：モデル地区による地域振興計画づくりへの歩み／西川了助」を参考にしてください。

<sup>4</sup> 詳しくは鹿児島大学生涯学習教育研究センター年報第6号「公開講座報告 総合計画と行政改革～行政経営に関する勉強会／松本俊一」を参考にしてください。

承を訴えた尾脇雅弥氏が第15代垂水市長に当選しました。

総合計画は行政運営の指針となるものですが、市長が交代した場合、公約や施政方針の違いから新たに総合計画が策定されることもあります。

今回、尾脇新市長は、選挙前までは垂水市議会議員として活躍しており、総合計画策定の公開講座に参加するなど当初から関わりをもっていただいたこと、そして、水迫市政を継承していくことを訴えていたことから、第4次垂水市総合計画も継続していく選択をしていただきました。

ただし、このように市長が交代した場合、新たに当選した市長が掲げた公約をこの総合計画の中で明確にできるのが課題として残ったところです。

## 4. 総合計画中間見直し事業のコンセプト

第4次垂水市総合計画基本構想において、基本計画は5年ごとに見直しするよう定められています。

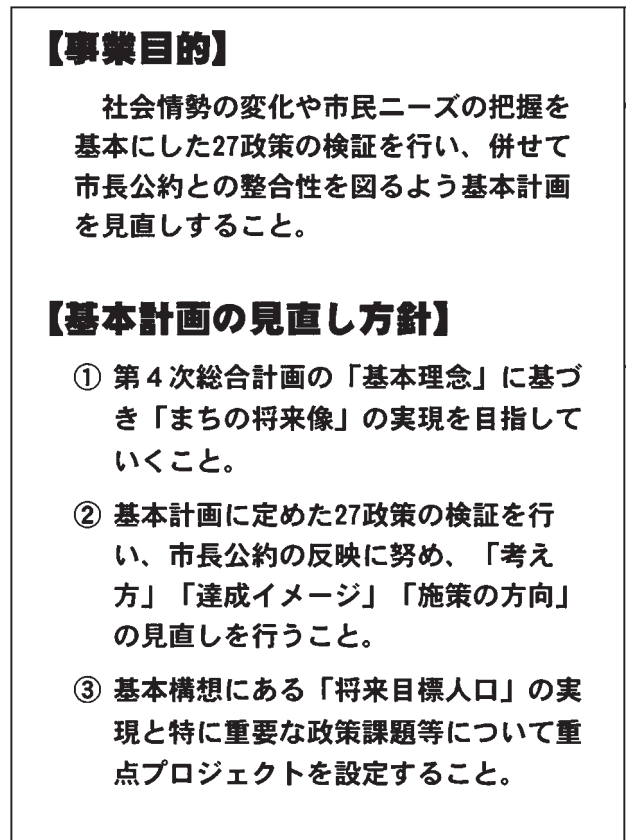
このため、企画課としては平成25年度を見据えて、今後5年間の後期基本計画へスムーズに移行するよう平成24年2月に実質的な見直し作業をスタートさせました。

はじめに、骨格といえる事業全体の事業目的、事業体制のプランについて、市長ヒアリングをベースに企画課内で検討を行い、経営会議で決定しました。

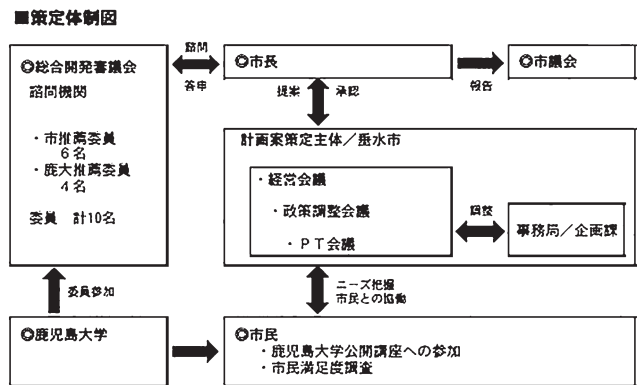
事業目的、見直し方針は図1のとおり、政策の検証を行うこと、社会情勢の変化や市長公約を反映させることとしました。

策定体制は図2のとおり、当初の計画策定段階と基本的な形は変わりません。計画案の策定主体は垂水市で、内部体制が庁内会議の再編に伴い、経営会議が中心となり、具体的な内容は政策調整会議で行うことになりました。また、引き続き、市民と行政の手作りを重視するため、鹿児島大学と連携していくこととしました。

(図1：事業目的等)



(図2：策定体制)



## 5. 総合計画中間見直し事業について

総合計画中間見直し事業は図3のとおり、大きく3つのフェーズからなります。

第1段階（内部評価）は、市担当課による政策の評価、第2段階（外部評価）は、市民による政策の評価、そして、第3段階（政策決定）は、第1・第2段階の結果をもとに計画策定機関である市が計画素案をつくり、計画決定までの手続きを行うものです。

### (1) 第1段階／内部評価について

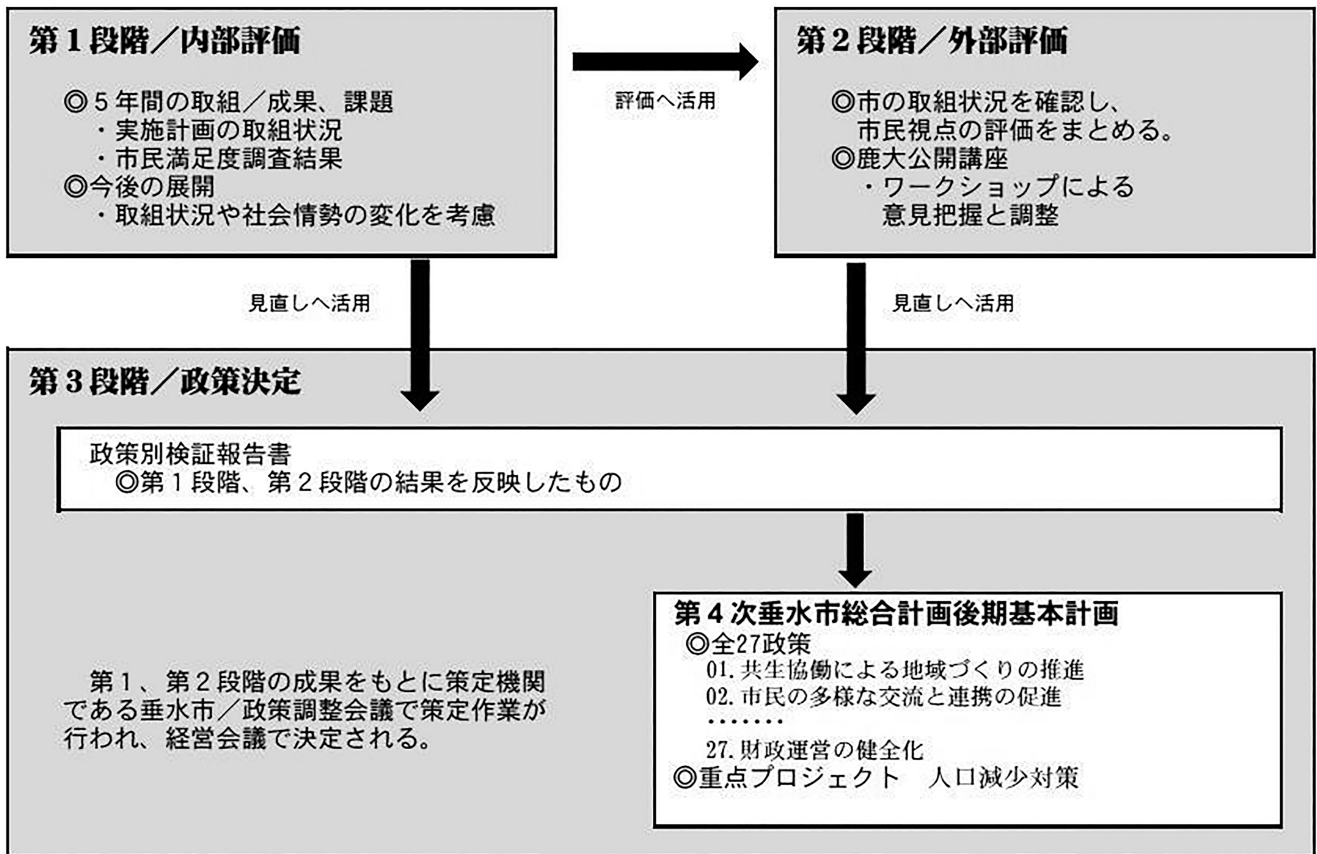
第1段階は、市の政策担当課が5年間の取り組みから成果や課題をまとめ、政策を見直すかどうか判断する作業となります。

企画課では、市民満足度調査結果の提供と政策推進課が行う政策検証作業のサポートを行いました。

なお、今回提供した市民満足度調査結果は、平成24年5

(図3：取組のイメージ)

### ■取組のイメージ



月に行いました。27政策の相対評価をはじめ、政策の成果や課題について、より多くの市民の声を集めるため、標本抽出方法を割当法に変更し、回収率の改善を図ることで調査の信頼性の確保に努めました。<sup>5</sup>

### (2) 第2段階／外部評価について

第2段階は、第1段階で行った市の政策評価結果をもとに市民の皆さんが政策評価を行うこととしました。

評価作業は、これまで実績のある鹿児島大学公開講座を活用しました。

#### ①公開講座開催準備

公開講座は市民目線の政策評価が行われることを目標に講座生30名、全2回で企画しました。

開催にあたっては、講座総括を生涯学習教育研究センターの小栗有子准教授に依頼し、特に市民が発言しやすいようにワークショップ形式で行うこと、また、進行役（ファ

<sup>5</sup> 今回採用した「割当法」による標本抽出方法は、あらかじめ振興会（町内会組織）ごとに性別や年齢構成に応じた調査対象者数を割り当て、その人選は振興会長に依頼したものである。この結果、回収率は97.3%で前回の35.5%から大きく改善された。

シリテーター)を鹿児島大学の先生方に務めてもらうよう要望しました。

講座を成功させるには、これまでの経験上、周到な準備が必要と学んでいましたが、今回、次の5点がポイントとなりました。

- 1点目 限られた時間内でより効果のある27政策の評価をするために、27政策を5つの分野に分けたこと。
- 2点目 協議のポイントを絞った形で運用したこと。また、内部評価結果をデータ等で客観的に示せるよう説明する政策推進課との打ち合わせを重ねたこと。
- 3点目 ワークショップの進行役を務める鹿児島大学の先生方と作業の進め方や協議の論点を丁寧に打ち合わせしたこと。
- 4点目 発言内容が見えるように、また、参加者が現在の作業状況を理解できるように配慮し、また、市職員から書記や計時を割り当てるなど、ワークショップの効果的な運営に努めたこと。
- 5点目 講座参加者は一般募集のほか、設定した5分野の市民評価の精度を高めるために政策に深く関わる市民を政策推進課において人選したこと。

## ②公開講座の内容

講座は5つのグループに分かれて行われました。それぞれ評価した政策と最終的な総括については、次のとおりとなりました。

### ◎第1班 安心安全部会

- 政策：12. 地域防災対策の推進  
13. 安心安全な地域社会の構築  
14. 快適な都市基盤の整備  
15. 循環型社会の構築  
16. 環境の保全

#### 最終総括／第2回講座

- ・地域防災は東日本大震災以後に生じた課題への対策を講じていくこと。
- ・都市社会基盤整備のもととなる都市マスタープランの策定を進めること。

### ◎第2班 垂水ブランド部会

- 政策：17. 地域資源の活用

- 18. 魅力ある農林業の振興
- 19. 魅力ある水産業の振興
- 20. 魅力ある商工業の振興
- 21. 働く環境の充実
- 22. 魅力ある観光の振興

#### 最終総括／第2回講座

- ・外から見た「垂水らしさ」の確立が必要であること。
- ・一次産品をしっかりとさせた上で発展させること。また、まち全体で6次産業化に取り組んでほしいこと。
- ・住んでいる人が豊かさを実感できるようにすることが経済産業基盤のよみがえりにつながると思われること。

### ◎第3班 健康・福祉部会

- 政策：08. 地域保健の充実  
09. 高齢者保健福祉の推進  
10. 障害者保健福祉の推進  
11. 医療体制の充実

#### 最終総括／第2回講座

- ・どう生きたいか、市民の意識の持ち方が大事であること。
- ・在宅医療の本来の形を市民に理解させる必要があること。
- ・今回は、垂水中央病院の在り方は結論が出せなかった。更なる検討を重ねてほしいこと。

### ◎第4班 教育・子育て部会

- 政策：04. 子育て支援体制の充実  
05. 学校教育の充実  
06. 学びあう社会の構築  
07. 地域文化の促進・保護・活用

#### 最終総括／第2回講座

- ・親や社会と共に育む環境づくりを進めていくため、地域の力を活用していくこと。
- ・子供たちが夢や希望を持って学べるようソフトの充実も必要であること。

### ◎第5班 地域づくり部会

- 政策：01. 共生協働による地域づくりの推進  
02. 市民の多様な交流と連携の促進

- 03. 地域を支える人材の育成
- 23. 市民参画による行政経営
- 24. 市民目線による行政経営
- 25. 市民の期待に応える職員の育成
- 26. 行政改革の推進
- 27. 財政運営の健全化

**最終総括／第2回講座**

- ・ 情報がいかに大事か意識して住民と行政の情報交換を進めてほしいこと。
- ・ 人口減少対策を進めてほしいこと。
- ・ 地域振興計画づくりは意義があり重要なものと確認できた。市民が作り行政が支援するこの取組を市民全体が認知することが大切であり、その後の自治基本条例の制定につながるものと思われること。

**③公開講座の総括**

公開講座は表1のとおり約200人の参加があり、進行役の先生をはじめ関係者の協力のもと、充実したものとなりました。

この2回の公開講座の結果は、講座結果報告書としてまとめ、参加者へ配布し、また、ホームページ上でも公表を行いました。

講座内容については、私も担当として講座を見て回りましたが、進行役の配慮もあり、参加した市民からバランス良く意見が聞き出せていたようでした。

今回の公開講座は3つの目的がありました。

- ①市民視点の政策評価をすること。
- ②市民の学びの場とすること。(ワークショップの体験、市政を理解する場)
- ③市民の市政参加の場とすること。(協働のまちづくりの実績づくり)

最後に行った講座終了後のアンケートでは、大多数が「有意義な講座であり参加してよかった」と回答しており、また「時間が短すぎる」「判断が難しかった」、「もっと多くの人に参加してほしい」などの意見もありました。

(画像1：公開講座の様子／第2班 垂水ブランド部会)



(表1：講座参加者実績)

**■講座実績**

第1回	8月25日(土) 9:00~12:30			
	計	内訳		
		市民	職員	進行役
①安心安全	24	7	16	1 下川悦郎先生
②垂水ブランド	19	6	12	1 佐野雅昭先生
③健康・福祉	22	7	14	1 徳田修司先生
④教育・子育て	25	7	17	1 前田晶子先生
⑤地域づくり	22	7	14	1 平井一臣先生
	112	34	73	5

第2回	9月22日(土) 13:30~16:30			
	計	内訳		
		市民	職員	進行役
①安心安全	22	6	15	1 下川悦郎先生
②垂水ブランド	18	6	11	1 佐野雅昭先生
③健康・福祉	17	5	11	1 徳田修司先生
④教育・子育て	22	6	15	1 前田晶子先生
⑤地域づくり	12	5	6	1 平井一臣先生
	91	28	58	5

(3) 第3段階／政策決定について

第3段階は、最終的な政策の決定段階に入ります。ここでは大きく2つの作業がありました。

1つ目は、後期基本計画案を作成すること、2つ目は作成された計画案の決定手続きを行うことです。それぞれの作業については、次のとおり進められました。

①計画案の策定作業

a) 政策別検証報告書

政策別検証報告書は第1段階及び第2段階の結果をまとめたものです。

【政策別検証報告書の構成】

◎政策別検証結果 一覧表 (図4)

◎政策別の詳細データ

- ・基本計画の概要 (図5)
- ・実施計画の情報 (図5)
- ・市民満足度調査結果 (図5)
- ・内部評価／総括、今後の展開 (図6)
- ・外部評価／見直し方針 (図6)
- ・公開講座会議録
- ・公開講座で使用した模造紙内容のまとめ (図7)

(図4：政策別検証報告書「検証結果一覧表」)

◎政策別検証結果 一覧表

政策番号・政策名	第1段階／内部評価		第2段階／外部(市民)評価	
	見直し方針	特記事項	見直し方針	特記事項
1 共生・協働による地域づくりの推進	現計画のまま	地域振興計画の計画策定や支援体制の構築に取り組まれていることや男女共同参画推進事業、共生・協働の農村づくり運動事業、垂水市人権推進活動事業などについても有償報酬に取組まれており、当該施策は引き続き取り組む必要性が高いため現計画のまま継続して推進することとする。	現計画のまま	・現計画のまま地域振興計画策定事業などの協働を進捗させていくこと、振興計画策定の中で出てきた問題の解決や、女性の活躍の場を伴ってほしいという意見も出されている。
2 市民の多様な交流と連携の促進	一部見直し	政策目標等の文言修正は行わないものの、目的や手段の具体的な支援内容に関する事業を実施計画において検討するなど、更なる政策の推進に努めることとする。	現計画のまま	・地域間の連携については様々な取組があり、特に計画を進める必要なく、現計画のままとする。今後市民レベルで交流を行う手段の検討や、行政人口減対策として、地区と地区の連携「協働(集会所、グラントゴルフなど)をどういう進捗で進めていくのかの検討が必要である。
3 地域を支える人材の育成	現計画のまま	現在の社会情勢において、現計画の考え方に大きな変化は認められないこと。	現計画のまま	・計画自体に問題はないが、学校応援員や水産キャリア制度について改善の必要があると意見があった。出された意見をふまえて現計画のまま変更していくこととする。
4 子育て支援体制の充実	現計画のまま	子育て支援の目標、理念は普遍的なものであり、目的や手段も変わらないため、引き続き現計画の策定に向けて、積極的に取り組む必要がある。	現計画のまま	・子供だけでなく、親や社会と共に取り組むべき取組を進めると、学校を含め親の負担軽減が大事である。
5 学校教育の充実	一部見直し	現在の状況において、現計画の考え方に大きな変化は認められないものの、各学校の老朽化の問題、垂水高等学校の振興支援策に関する市民の理解状況等を踏まえたとき、一部見直しを行う必要があると考える。	一部見直し	一部見直しにあたり、5年間の成果として挙がっている空調設備等の整備や垂水高校振興策といった環境整備をソフトに結びつけ、子供たちが夢を持ってほしい。けるよう取り組む必要がある。出された意見について反映してほしい。
6 学びあう社会の構築	現計画のまま	現在の社会情勢において、現計画の考え方に大きな変化は認められないこと。	現計画のまま	・現計画のまま変更させていくこと、また、市民と協力して進めていく必要がある。
7 地域文化の促進・保護・活用	現計画のまま	現在の社会情勢において、現計画の考え方に大きな変化は認められないこと。	現計画のまま	・市民の関心、意識向上が必要であり、生涯や健康の再発見も進めていくこと、また、文化の保護だけでなく活用面の取組も大事である。
8 地域保健の充実	現計画のまま	現在の社会情勢において、現計画の考え方に大きな変化は認められないこと。生活習慣病予防やがん予防等、保健事業の推進と保健医療活動の充実引き続き取り組む必要があること。	現計画のまま	・生かすを支える環境整備、例えば誰もが利用できるスポーツ施設の整備を行うことに取り組んでほしい。

(図5：政策別検証報告書「政策別検証詳細①」)

■基本計画 政策別検証結果 詳細

コード	政策目標名	1-2-2 05. 学校教育の充実
基本計画の概要	政策目標の考え方	自ら学び自ら考える、たくましく「生きる力」を備えた、子どもを育てるために、教職員一人一人の資質の向上を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進しながら、その中で、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について地域の人材を活かしながら体験を通して学習し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」を育成するとともに、垂水の次代を担う子どもたちが生き生きと学べる良好な教育環境の確保に取り組む。
	目指すイメージ	●子どもたちが夢を持ち、いきいきと学んでいます ●施設・設備が整備され、良好な教育環境が保たれています
	施策の方向	●生きる力を育む質の高い教育の推進 ●家庭・地域と連携した教育の推進 ●教育環境整備
	参考指標	◎「学校教育の充実」に対する満足度
政策推進課	学校教育課・教育総務課	

政策事業費	1,836,232千円	11.16%	※累計3月31日～5月31日(2023～25年の経費別別事業費と全体事業費との割合)		
事業名	担当課	評価状況			備考
		①妥当性	④有効性		
垂水高校存続対策事業	企画課	4	4		
垂水高校振興対策事業	教育総務課	4	3		
教職員住宅管理整備事業	教育総務課	4	3		
学校管理事業	教育総務課	4	3		
小学校施設整備事業	教育総務課	4	3		
中学校施設整備事業	教育総務課	3	3		
学校統廃合事務事業	教育総務課	4	3		
特別支援教育特別支援員事業	学校教育課	4	4		
垂水市セカンドスクール事業	学校教育課	4	4		
理科教育推進事業	学校教育課	4	4		

平成24年度分	重要度	満足度	二重値	相対評価	評価エリア
実績値	4.535	3.253	1.282	I	A
順位/27政策中	4	5	9	重要度↑・満足度↑	優先して改善
市民満足度調査	●重要度、満足度、ともに数値、相対順位が大きく上がっているため、一定の成果が見られる。 ◎評価エリアはAであるが、全体的に数値の向上が認められ、また、自由意見についても「評価」が多いことから現状の維持に努めていく必要がある。 ◎前回比較 ◎評価結果				

(図6：政策別検証報告書「政策別検証詳細②」)

5年間の取り組み	
成果が得られたもの	●市内4中学校を1校に統合し、校舎も大規模改修工事を行うなど、子どもたちのよりよい教育環境をつくることができました。 ●安心安全な教育環境づくりのため、市内各学校施設の耐震化と空調設備を設置しました。 ●支援が必要な児童が豊かな学校生活を送ることができるよう特別支援教育支援員を配置しました。 ●複式学級のある5小学校で、集団宿泊学習を実施し、豊かな体験を積み重ねることができました。 ●垂水高校振興支援計画を定め、垂水高校の振興支援に取り組みました。
課題が残ったもの	●各学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な整備が必要なこと ●垂水高校の振興支援策を市、学校、市民にいかにつなげて活用していくかが課題であること
総括	各学校においては、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について、地域の人材を活かしながら、豊かな体験活動を計画・立案し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」の育成を目指した教育活動を展開することができました。今後も、現状を分析し、垂水の次代を担う子どもたちにとって、学校教育が果たすべき役割をしっかりと認識し、特色あふれる開かれた学校づくりに取り組んでいく必要があります。
今後の展開	●一部見直しを行う必要がある。 (理由) 現在の状況において、現計画の考え方に大きな変化は認められないものの、各学校の老朽化の問題、垂水高等学校の振興支援策に対する市民の理解状況等を踏まえたとき、一部見直しを行う必要があると考える。

公開講座 結果	
見直し方針	一部見直し
特記事項	一部見直しにあたり、5年間の成果として挙がっている空調設備等の整備や垂水高校振興策といった環境整備をソフトに結びつけ、子供たちが夢を持って羽ばたけるよう取り組む必要がある。出された意見について反映してほしい。

(図7：政策別検証報告書「政策別検証詳細③」)

■ワークシートまとめ/第1回・第2回

05. 学校教育の充実		
5年間の成果		
政策推進課の主張	疑問・分らない点	共感/納得
ふるさと垂水を愛し語りをする子供の育成に取り組みました	セカンドスクールは複式学級だけでなく大規模校でも良いのでは 教員の教え方の勉強会が必要ではないか	セカンドスクールは一緒に何かをする良い経験になっている
中学校の統合や大規模改造工事を行い、教育環境整備に取り組みました		
垂水高校振興支援計画をまとめて垂水高校の振興を支援しています	垂水高校に魅力的なものが足りないのでは？	
【備考】 市民の教職員等が自発的に集まり、学習・検証する場があれば……		
今後の展開		
◎市の見解	◎市民提案	
②一部見直しを行う必要がある。  (理由) 現在の状況において、現在の計画の考え方等に大きな変化は認められないものの、各学校の老朽化の問題、垂水高等学校の振興支援策に対する市民の理解状況等を鑑み、一部見直しを行う必要があると考える。	評価 まとめ 一部見直し  市民が応援したい学校を作っていく 他にない特色のある学科づくり 子供の個々の特性を生かし伸ばせてくれる学校 小学校に中学校の先生が中学校に高校の先生が教えてくれる交流授業が必要(ワンランク上の勉強) 子供たちがやっていることのPRの必要性(そこにあることを外に発信する)	ソフト事業の充実  環境整備が教育内容の充実につながる
【備考】		

a) パブリックコメント

パブリックコメントは、計画や条例など市の政策を作る時に、その内容等を公表し、市民から提出された意見を参考にして、意思決定の参考にする手続です。

今回は平成24年12月15日から30日間実施し、電子メールによる意見提出が1件ありました。

b) 総合開発審議会運営

総合開発審議会は地方自治法第138条の4第3項に規定される市の附属機関で垂水市総合開発審議会条例により設置されています。

審議会は、表2のとおり委員10名で組織され任期は2年となっており、市の総合開発や市政運営に関する事項を審議する機関です。

今回の中間見直し事業にあたり、総合開発審議会は平成24年度中に3回開催しました。

1回目の会議はこの中間見直し事業全体の内容を理解いただくこと。2回目の会議は市が策定した後期基本計画案の諮問を受け、策定経過、計画案の説明を受けること。3回目の会議は諮問された後期基本計画案に対する答申内容を協議しました。

結果的に「概ね即している」との答申がなされましたが、「政策相互のつながりを重視し、課の連携をもって政策の推進に努めてほしい」など9件の要望事項が示されました。

b) 素案調整作業

政策推進課と企画課の協議を行い、後期基本計画素案をまとめました。

まとめにあたっては、政策別検証報告書をもとに政策の考え方、目指すイメージ、施策の方向等を見直しするか否か、見直しする場合はどのように見直しするかを話し合いました。

②決定手続き

計画案の最終的な決定は、計画案の策定主体である市であり、経営会議で行われました。

この経営会議では、見直された計画案の内容と策定過程が判断材料となりました。

素案の内容については、最終的な市民意見を確認するため、パブリックコメントを実施し、また、市長の諮問機関である「総合開発審議会」に専門的視点から審議をいただきました。

(表2：総合開発審議会委員名簿)

■総合開発審議会 委員構成 (敬称略)

役職	氏名	略歴
会長	平井 一臣	鹿大推薦・教授
副会長	川崎あさ子	市長推薦・団体役員
委員	池田 忠	市長推薦・医師
	小栗 有子	鹿大推薦・准教授
	川畑 博海	市長推薦・会社役員
	小牟田哲司	市長推薦・団体役員
	田之上光雄	市長推薦・公民館長
	佐野 雅昭	鹿大推薦・教授
	前田 晶子	鹿大推薦・准教授
	山口 容子	市長推薦・団体職員

### c) 後期基本計画について

市では、パブリックコメントや総合開発審議会答申を反映させる形で最終調整を行い、経営会議において後期基本計画を決定しました。

結果的に見直しを行った政策は、次のとおりとなりました。

#### ●取組内容の見直しを行った政策／10 政策

- 04. 子育て支援体制の充実
- 05. 学校教育の充実
- 08. 地域保健の充実
- 09. 高齢者保健福祉の推進
- 10. 障害者保健福祉の推進
- 11. 医療体制の充実
- 12. 地域防災対策の推進
- 14. 快適な都市基盤の整備
- 21. 働く環境の充実
- 23. 市民参画による行政経営

#### ●重点プロジェクトについて

「人口減少対策」の設定

それから、鹿児島大学との連携ですが、本事業の核ともいえる鹿児島大学公開講座について、本市の各種計画策定過程における強力で有効的なツールとして機能してきていると感じました。

さらに成果を高められるよう行政職員はファシリテーションやプレゼンテーションなど様々なスキルの習得と講座全般のプランニング力の向上を図り、市民と行政を有効的につなげていければと実感したところです。

後期基本計画がスタートして、半年が過ぎようとしています。現在、重点プロジェクトに設定した「人口減少対策」も人口減少対策本部及び人口減少作業部会が設置され、精力的に活動を行っています。

市民と行政の手作りで作った「第4次垂水市総合計画」が目指す「水清く 優しさわき出る 温泉のまち たるみず」が実現するよう、引き続き、鹿児島大学のご支援をよろしくお願いいたします。

## 6. おわりに

今回の基本計画中間見直し事業は、当初のプランどおり進めることができました。

まずは、鹿児島大学の先生方に感謝申し上げたいと思います。特に総合開発審議会委員を務められました小栗有子先生をはじめ、平井一臣先生、佐野雅昭先生、前田晶子先生にはお忙しい中、垂水市の各行政分野について専門的視点でご助言をいただきました。

本当にありがとうございました。

(参考資料等)

ここで紹介した「第4次垂水市総合計画 基本計画中間見直し事業」の各種資料は垂水市ホームページで公開しています。

◎第4次垂水市総合計画／基本構想・後期基本計画

<http://www.city.tarumizu.lg.jp/sougoukeikaku/>

◎公開講座関係／講座結果報告書・政策別検証報告書

<http://www.city.tarumizu.lg.jp/sougoukeikaku/koukaikouza/>

◎総合開発審議会関係／会議録、諮問・答申書

[http://www.city.tarumizu.lg.jp/sougoukeikaku/shingikai/4th\\_minaoshi.htm](http://www.city.tarumizu.lg.jp/sougoukeikaku/shingikai/4th_minaoshi.htm)